

事業概要書

事業名	まつど de SDGs の輪を広げようプロジェクト事業
団体名	まつど地域活躍塾つながりの会
事業担当課	総合政策部 政策推進課 市政総合研究室

事業概要

松戸市(行政)とまつど地域活躍塾つながりの会(市民団体)との連携・協働による市民社会での SDGs の一層の浸透・定着並びに行動意識を高めることを目的とし、「①SDGs 情報発信の拡大」、「②SDGs の地域学習の促進」、「③松戸版 SDGs アクション・プラン企画コンテスト」の 3 つの柱から活動を行う。

取り組もうとする松戸市のテーマ(課題)	<p>2015 年 9 月に国連が 193 カ国の合意の下に定められた「持続可能な開発目標(SDGs: Sustainable Development Goals)」は、2030 年までに世界の貧困、平和、教育、医療・福祉、経済、技術革新、人権、環境等の課題をテーマとした 17 個の目標を達成していくことを目指している。日本政府や大企業等は、これまで SDGs の目標達成へ向けた取り組みを進めてきた。</p> <p>松戸市は、2022 年 5 月 20 日に国の「SDGs 未来都市」と「自治体 SDGs モデル事業」に選ばれた。それにより、市民社会の中で、SDGs の普及啓発の一層の浸透・定着を図りながら、市民が SDGs 行動へつなげていくことが求められている。国連のレポート(Sustainable Development Report 2022)によれば、2030 年までにジェンダー(目標 5)、生産と消費(目標 12)、環境(目標 13,14,15)や連携・協働(目標 17)は、日本が最重要課題として取り組むことが求められている。松戸市の現状を SDGs との関連で位置づけるのであれば、上記の課題に加え、高齢化社会・健康への対応(目標 3)や若い人たちを巻き込んだ地域活性化によるまちづくり(目標 11)を挙げることができる。これらの課題を解決していくための手段は、「目標 17 のパートナーシップで目標を達成しよう」とあるように、行政と市民社会との連携・協働が重要である。</p>
事業の目的	<p>本事業では、松戸市(行政)とまつど地域活躍塾つながりの会(市民団体)とのパートナーシップにより、松戸市民の SDGs に対する理解を一層深め、同市が抱える地域づくりの課題を SDGs とのつながりで考え、その解決へ向けた市民の行動意識を高めていくことを目的とする。</p>
事業内容	<p>松戸市民社会における SDGs の理解とその浸透・定着を図り、地域振興や社会課題解決に取り組むことのできる市民の行動意識を高めていくためには、「① SDGs 情報発信の拡大」、「②SDGs の地域学習の促進」、「③SDGs 行動意識の向上」の 3 つの柱で進めていく。</p> <p>① <u>SDGs 情報発信の拡大(2023 年 4 月～12 月)</u></p> <p>松戸市では、SDGs の取り組みが具体的にどのように行われているのか、特に、市民レベルでの情報を整理・発信しているサイトが少ない。当会が市民活動助成事業(令和 3・4 年度実施分)で取組んできた松戸市での SDGs ネットワーク参加団体の協力を得ながら、活動事例を募集し松戸版 SDGs 活動事例集の作成を進める。そして、市のウェブサイトでの公開により、松戸市の市民社会における SDGs の取り組みの周知拡大を図る。</p> <p>② <u>SDGs の地域学習の促進(2023 年 4 月～2024 年 3 月)</u></p> <p>市民社会の中で SDGs の浸透・定着をより確かなものにするためには、市民の SDGs の地域学習を促進していくことが重要である。当会としては、これまで SDGs 基礎講座を開催して松戸市民の SDGs 学習を促進してきたノウハウを活かすことや、現在開発中の松戸市民向けの SDGs 教材(冊子本)を活用し、市の施設等における SDGs の地域学習会(計 4 回<春・夏・秋・冬>)を実施する。地域学習会では、市が SDGs に関する取り組みについて市民へ発信することで、市と当会との両輪での相乗効果を期待することができる。なお、SDGs の地域学習では外部講師を招聘して実施する。</p>

	<p>③ <u>SDGs 行動意識の向上(2023年7月～2024年2月)</u> 松戸市での地域課題の解決を図る SDGs 行動を促進するべく、「松戸版 SDGs アクション・プラン企画コンテスト(1回)」を実施し、企画を募集する。2022年2月10日に市が主催した「松戸市内の大学生による SDGs フォーラム」に参加した有志の学生に運営等の協力検討を依頼し、松戸の次世代を担う若者の SDGs をテーマとした課題解決の行動へつなげるための能力向上を目指す。なお、SDGs アクション・プラン企画コンテストの上位入賞者には、景品を贈呈する。</p>
協働の必要性	<p>当会では、2019年より松戸の市民社会における SDGs の認知度と理解度を図るための活動を実施してきた。これまでの経験を活かした上で SDGs の浸透・定着を図るためのもう一步踏み込んだ市民への普及啓発を進めていきたい。当会としては、市と協働することで、松戸市の「SDGs 未来都市」や「自治体 SDGs モデル事業」の後押しをすることで、松戸市の市民社会の中で多様な人材が奏でる SDGs 活動の輪を広げ、地域の活性化等につなげていけるよう貢献したいと考えている。</p> <p>当会にとっては、市と協働することで、市のウェブサイトにおける SDGs 事例集の掲載により、松戸市の市民社会における SDGs 行動の見える化につながり、SDGs の普及啓発の効果が一層高まることが期待できる。また、SDGs の地域学習や「松戸版 SDGs アクション・プラン企画コンテスト」を市と連携して行うことで、松戸市民への SDGs の必要性和理解を深め、行動意識を高めることができる。</p> <p>一方、松戸市は「SDGs 未来都市」や「自治体 SDGs モデル事業」に選定された。市と市民社会が連動した取組みや情報発信を行っていくことで、その相乗効果が期待できる。また、市民社会の立場で SDGs の普及啓発を行ってきた当会のこれまでの経験と、地域や人とのつながりを活かすことで、市の SDGs 政策の達成に寄与していくため、協働することの意義は大きいと考えている。</p> <p>具体的な市への協力依頼内容は、上記の事業内容に沿って示すと、下記の通りである。</p> <p>① <u>SDGs 情報発信の拡大</u> 松戸版 SDGs 活動事例集の作成への協力・助言、市のウェブサイトでの公開。</p> <p>② <u>SDGs の地域学習の促進</u> SDGs の地域学習内容への助言、広報・情報発信と地域学習会の協働開催。</p> <p>③ <u>SDGs 行動意識の向上</u> 松戸版 SDGs アクション・プラン企画コンテストの内容に対する助言、広報、選定作業、実施への協力、大学生 SDGs フォーラムに関わったミライノラボへの協力依頼。</p>
事業の目標	<p>松戸市と当会との連携・協働による市民社会での SDGs の浸透・定着と行動意識を高めることを目的とした今回の事業目標は、下記3つの活動の柱ごとに示す。</p> <p>① <u>SDGs 情報発信の拡大</u> 松戸市における組織や団体の SDGs をテーマとした取り組み 20 事例以上が公開される。</p> <p>② <u>SDGs の地域学習の促進</u> SDGs の地域学習会(計4回)の実施により計80人(20人程/回)が参加し、身近な暮らしと SDGs とのつながりについて理解を深める(参加者の内容理解については、学習会の最後の方で意見の収集を行う)。</p> <p>③ <u>SDGs 行動意識の向上</u> 松戸版 SDGs アクション・プラン企画コンテスト(1回)において、20以上の応募がある。</p> <p>最後に、今回の協働事業は1年間の内容であるが、3年間で進めることを考えている。2年目以降は、SDGs の活動事例集の拡大、SDGs を意識した地域での体験型 SDGs 学習の実施や、アクション・プラン企画コンテストの継続に加え、松戸市の各地域で SDGs を牽引する SDGs リーダーの人材育成の取り組みを進めていきたいと考えている。</p>

事業の予算概要

【労力換算（限度額算入）】

（単位：円）

区分	科目	予算額	積算内訳
団体	労力換算額 (A)	¥ 293,524	※別紙 労力換算計算書 参照

【収入】

区分	科目	予算額	積算内訳
団体	団体拠出金	¥ 14,074	事業費の一部を団体の会計より拠出
	SDGsの地域学習会(参加費)	¥ 40,000	500円×20人×4回
	自己資金の合計額 (B)	¥ 54,074	
市	協働事業負担金 (C)	¥ 273,366	
	合計額 (D) = (B+C)	¥ 327,440	

【支出】

区分	科目	予算額	積算内訳
負担金の 交付対象 経費	報償費	¥ 40,000	SDGsの地域学習会(外部講師): 5,000円×2人×4回
	消耗品費	¥ 10,000	打合せ・学習会用の文房具(ペン、ポストイット等)一式 3,000円
			SDGsアクション・プラン企画コンテストの賞状用紙: 2,000円
			SDGsアクション・プラン企画コンテストの景品代 SDGs推進ノベルティグッズ一式5,000円
	印刷製本費	¥ 195,000	松戸版SDGs活動事例集印刷 10円×50枚×150部
			松戸版SDGs活動事例集募集用のチラシ: 4円×1,000枚
			松戸市民向けSDGs教材の印刷 30円×25枚×100セット
			SDGsの地域学習(4回開催)のチラシ印刷: 4円×3,000枚 SDGsの地域学習の資料印刷: 10円×20枚×80人 SDGsアクション・プラン企画コンテストのチラシ印刷: 4円×2,000枚 SDGsアクション・プラン企画コンテストの資料印刷: 10円×10枚×50人
	委託料	¥ 20,000	SDGsアクション・プラン企画コンテストのチラシデザイン: 20,000円
	食糧費	¥ 1,200	SDGsの地域学習会(外部講師)飲料代: 150円×2人×4回
使用料及び賃借料	¥ 30,140	SDGsネットワーク団体等の関係者との打ち合わせ(まつど市民活動サポートセンター大会議室等) 660円/時間×2時間×3回	
		SDGsの地域学習(まつど市民活動サポートセンター大会議室等) 660円/時間×7時間×4回 SDGsアクション・プラン企画コンテスト(まつど市民活動サポートセンター多目的ホール) 1,100円/時間×7時間	
通信運搬費	¥ 7,400	関係者への資料・チラシ等の郵送料: 370円(レターパック)×20回	
	対象経費の合計 (E)	¥ 303,740	
(その他 対象外) 経費	交通費	¥ 5,000	つながりの会会員(打合せ等): 500円×10回
	通信運搬費	¥ 3,700	つながりの会会員(資料・チラシ等): 370円(レターパック)×10回
	チラシデザイン	¥ 15,000	松戸版SDGs活動事例応募チラシデザイン: 3,000円 SDGs地域学習チラシデザイン: 3,000円×4回
	その他経費の合計額 (F)	¥ 23,700	
	合計額 (G) = (E+F)	¥ 327,440	

【チェック項目】

- 1 協働事業負担金 (C) が、対象となる経費 (E) 欄の90%以内であること。
- 2 協働事業負担金 (C) が、自己資金 (B) 欄に労力換算額 (A) 欄を加えた額を超えないこと。
- 3 協働事業負担金については、50万円を上限とする。

労力換算計算書

(単位:円)

項 目		換算額	積算内訳
労 力 換 算 額	活動計画		人数×時間回数×953円
	①SDGs情報発信の拡大 打合せ	22,872円	4人×2h×3回×953円
	SDGs活動事例集の整理・編集・作成	38,120円	2人×2h×10回×953円
	②SDGsの地域学習の促進 打合せ	15,248円	4人×1h×4回×953円
	SDGsの地域学習会の準備	15,248円	4人×1h×4回×953円
	SDGsの地域学習会の実施	106,736円	4人×7h×4回×953円
	SDGsの地域学習会の事後処理	15,248円	2人×2h×4回×953円
	③SDGs行動意識の向上 打合せ	22,872円	4人×2h×3回×953円
	松戸版SDGsアクション・プラン企画コ ンテストの準備	22,872円	4人×3h×2回×953円
	松戸版SDGsアクション・プラン企画コ ンテストの実施	26,684円	4人×7h×1回×953円
	松戸版SDGsアクション・プラン企画コ ンテストの事後処理	7,624円	2人×2h×2回×953円
			人×h×回×円
			人×h×回×円
			人×h×回×円
		人×h×回×円	
		人×h×回×円	
		人×h×回×円	
		人×h×回×円	
		人×h×回×円	
		人×h×回×円	
合 計 (A)	293,524円		